

1. 件名：「再処理施設等の地震等に係る新規規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（2）」

2. 日時：令和4年4月8日（金）13時30分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、永井主任安全審査官、中村主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

同 技術基盤グループ 地震・津波研究部門：

呉 地震・津波政策研究官※

日本原燃（株）：

大柿一史 常務執行役員、技術本部 土木建築部長 他7名※

同 東京支社： 技術部 建設管理グループ 主任※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・【資料1】地質・地盤・地震動に係る審査会合・ヒアリング・面談コメントリスト_回答状況

・【資料2】再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設 標準応答スペクトルを考慮した評価について（コメント回答）

・【資料3】再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設 許可後の新知見の反映について（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
0:01:27	はい、えっとですがよろしいですか。
0:01:33	よろしく願いいたします。
0:01:34	はい。資料出していただいているようなので資料の説明からお願いいたします。
0:01:42	はい。この基本言明の柏三木です。まず、
0:01:45	資料1の資料、資料3でございますが、まず資料1のコメントリストのほうからご説明させていただきます。
0:01:52	9番までが、あるTRUの免許等のバス、11番以降ですね審査会合下の ※
0:02:00	ご説明します。
0:02:01	まず地震のところ二つをしようと。
0:02:04	そういう関係ですけども、まず一つ目が清宮さんとか瀬口による道の撮影だったり、設定日のあたりについては、
0:02:14	支店の関係で、うちの7.0とすることと、
0:02:18	いうこと。
0:02:19	二つ目が、
0:02:20	県民、その施設を出す記録にその治療方法及び振動というものがないとした上で、
0:02:28	提言、谷垣の方、大串弁理士は代表として扱っている資料に対する、
0:02:37	曾我鈴木新知見の方、実績ですけども、船津松田と濱田層の名称が10年勉強会申請書を意図について、授業評価システム、
0:02:47	最後あたりをちょっと
0:02:50	もっとハッチングしてますって最後に簡単ですけど、新知見による変更点だけでなく、
0:02:56	民間の地域についても、
0:03:02	運営になってございます。
0:03:04	ね、資料1については以上でございます。
0:03:10	よろしければ、いうふうに、
0:03:13	の方にいってもよろしいでしょうか。
0:03:16	一通りまとめて説明、ごめんなさい別々ないから新知見とは、
0:03:22	まず最初に大戸スペクトルの方資料2の方説明お願いできますか。
0:03:28	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:29	日本原燃フローにスペクトルを考慮した評価についてコメント回答という資料の方を説明させていただきます。
0:03:38	資料開いていただきまして2ページで、作戦ですよ。
0:03:42	内容の立法だけに、
0:03:44	例規なんか1って言うてる。
0:03:47	でも資料1の方で、やはり、
0:03:50	いたしましたシンク包絡線の設定に用いるマグニチュードをM7にするってところの声を、
0:03:57	二つ、ナンバー2と振っていますのが、
0:04:01	制限はの重ね合わせによる、
0:04:03	模擬地震は代表するってところの考え方の記載についても止まっております。
0:04:09	それは資料、
0:04:11	行っていただき4ページをお願いします。
0:04:17	こちらは前回の会合の資料でも載せておりました模擬地震版の作成選定のフローでございます。今回はこれも須藤は、地域、
0:04:27	コメント回答の1番目としまして制限の重ね合わせによる位相を用いる方法によるものですね、作成、
0:04:34	局面、回答の2番としまして最後の五味地震選定のところについて、
0:04:39	ページをご説明させていただきます。
0:04:45	それでは早速5ページからコメントNo. 1、やります。
0:04:50	資料9 営業は新保香田線の設計条件について記載しておりまして、攻撃マグニチュード6.5に相当するマグニチュードを気象庁マグニチュード7.0として、新保小浦全国開発に設定しました。
0:05:04	新保包絡線の形状変化、比較した表が、
0:05:09	ページの真ん中に示しておりまして、M6.9とした場合でも7点だろうとした場合で比較比率と全部7.0とした場合の方が、主要動の継続時間が大体0.8秒。
0:05:20	全体の
0:05:22	全体の政策には翻訳1.8秒ほど長くなるという結果となっており、
0:05:30	続きまして6ページ7ページの方に、マグニチュード7.0し包絡線で作成した模擬地震は、作成結果の方を示しております。
0:05:38	4ページがついてる方法、7ページが鉛直方向の結果となっておりまして、水平鉛直ともに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:45	ギャング 4601 の判定基準適合度の基準を満たすものが作成できているということを確認しております。
0:05:56	マグニチュード 7.0 の新規包絡線で撮影した野木伴につきましては以上でございます、次のページからはコメント No.2 番の、
0:06:06	前半の重ね合わせの方向による模擬地震代表性のところ、
0:06:11	機械となっております、
0:06:14	まず 1 ページですが、
0:06:16	地震基盤における模擬地震の比較としまして、制限重ね合わせの後による方法と、観測記録の位相を用いる方法で持つ作成した。
0:06:27	地震の応答スペクトルの比較を示しております。
0:06:32	と、
0:06:33	こちらにつきましては、
0:06:35	どちらも同じ標準応答スペクトルに適合すれを作成しておりますので有意なところはございません。
0:06:41	続きまして 9 ページでは、これを、
0:06:44	深部地盤モデルを用いて解放基盤表面まで、
0:06:49	引き上げたものを、
0:06:51	応答スペクトル比較を示しており、
0:06:53	私も出っこみ引っ込みありますけれども、
0:06:56	両方による地震動に有意な差は見られて、
0:07:03	続きまして 10 ページ、
0:07:06	今度、加速度時刻歴は系の、
0:07:08	加来の方を示しております。
0:07:14	最大加速度を比べますと水平鉛直度に提言は重ね合わせの、
0:07:19	重ね合わせる方法で作成した地震動の方が大きくなって、
0:07:24	ちょっと時刻歴は系の形状全体を比較してみますと、
0:07:28	前半の重ね合わせによる方法で作成した地震動のほうが比較的振幅の大きい波が繰り返し現れるという傾向にあるってということが見てとれます。
0:07:38	11 ページ以降ではこの今申し上げました比較的進歩の大きい波の繰り返しの具合ってところをちょっと定量化する指標としまして着地契約 1 というものを比による比較を行っております。
0:07:52	結果の方 12 ページにお示ししておりますが、
0:07:59	おっきい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:01	計算したシール部 1 の方ですけども、制限は集めアピール方向で、
0:08:06	まず水平が 1.9 鉛直が 1.19 になるのに対し、観測記録の位相を用いる方向では、
0:08:13	N S I V
0:08:15	1.09、E Wを置いている T D方法 0.58 と。
0:08:22	前半の重ね合わせによる方法の方が、
0:08:25	優位に関する記録。
0:08:27	位相を用いる方法よりも大きくなっているっていうことが、
0:08:31	できました。
0:08:35	以上を踏まえまして基準地震動を、
0:08:38	そして選ぶというところが、13 ページのほうに記載しております。
0:08:43	所、
0:08:46	この地震は解放基盤表面に受ける応答スペクトル理由が見られ、
0:08:51	太字、パソコンの時刻歴は系及び C A V 値の比較から、
0:08:55	それに重ね合わせる。
0:08:58	による方法の方が振幅の大きい波の繰り返しが多いということが確認できましたんで、
0:09:03	標準応答スペクトルを考慮した地震動としては、前半の重ね合わせによる方法で作成した地震動を採用することといたします。
0:09:14	で、標準応答スペクトルを考慮した地震動は、基準地震動 A 先生を 1 年置き上回っておりますので、
0:09:21	静止英語として採用す。
0:09:23	ルールに置き換えて欲しい。
0:09:28	14 ページの方、非常に振動、
0:09:31	最大加速度の一覧ですけども資料は水平方向 621 G a l、鉛直方向の主
0:09:37	予算がある、色をすることと、
0:09:42	あれしております。
0:09:44	資料の説明としては以上になります。
0:09:49	はい。ここで 1 回切りましてですね、確認事項等あればお願いします。
0:09:57	はい。H e a d すいませんサトウですけども。
0:10:02	江村で作っていただいたということで 5 ページ、すいませんお願いします。5 ページですが、
0:10:09	これ前の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:11	6.9 で作っていただいた時の、この右側の模式図があるんですけども、 どれだけ長くなったかっていうのを比較する上でこれ、
0:10:21	それも重ね合わせていただくことはできますか、6.9 で作った時のやつ。
0:10:27	はい、新保包絡性二つ重ね合わせたようにするという事です。うん。
0:10:33	を追加させていただき、
0:10:36	ここはちょっと図面のお話だけです。
0:10:39	あと7で作ったってのは一応わかりました。
0:10:43	あとねもう一つ
0:10:44	値を乱数とそれから実間記録とどっち使いますかっていうお話で、
0:10:50	11 ページの、
0:10:52	C A V 値ってのがあるんですけど、
0:10:56	これ概念っていうかあんまり説明をしていただけなかったんですけども。
0:11:01	これももう少し説明をしていただきたいんですが。
0:11:04	これ要するにそのまま1秒ごとに区切って、
0:11:07	ある一定程度以上の振幅あるものを拾って行って積算するっていうそういうお話なんですかそうすると要するに、
0:11:17	振幅の大きいものがどれだけ入ってるかっていうのを定量的に示すっていうそういう指標だと思っていいたいですか。
0:11:26	佐藤さんがおっしゃられた通りの指標でございまして、記載の通りではあるんですけども加速度時刻歴も、
0:11:32	前回1秒ごとに確認してそれが閾値今回の場合水平に300鉛直だと200ガルっていうものを超えているものがあればその部分の積算を出していくんっていう地方、
0:11:43	地方になっております。
0:11:46	ごめんなさい。もう一つ、もう一步踏み込むとね、振幅の大きいものを拾うという考え方は、
0:11:53	結局、どこにその、うん。
0:11:55	どういう観点で反映されるんですかちゅうかどういふ観点で、
0:11:59	大きい、うん。何ていうかな、
0:12:03	どういふ理由でそ、その大きい、大きいものがそのいい言葉になるんですかね。
0:12:09	そこだけちょっと教えて欲しいんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:13	はい。日本原燃のオガセでございます今のご質問の件なんですけれども、まずは、前の9ページとかに示しております通り、応答スペクトル上は、いずれの趣向について有意な差がないと。
0:12:25	ございます。我々として基準地震動を決める上では基本的にこの応答スペクトルというところの観点で決めているところですので、そこに有意な差がないとなれば、あとは位相の差、
0:12:36	について、見比べた上でどちらが保守的な地震動になるかという観点で見えていくことになります。その観点でいきましたときに、この制限は、重ね合わせる方法と、観測記録総括使った方法。
0:12:49	これを見比べたときに、大加速度振幅が何回も現れる。つまり大きい振幅が繰り返し現れるというところで、定量的に施設の評価を評価してに対しての影響というわけではないんですけれども、
0:13:00	そういった最終的にこの基準地震動を用いるっていうのが建屋なり施設の耐震設計であるというところを踏まえますと、大加速度が何回も現れた方が、原子力施設の設計としては指摘になるだろうと。
0:13:13	そういったところの考え方でこの振幅の出方、出てくる回数というところを、今回比較したというところでございます。それを定量的に見ただけでちょっとわかりにくいので、先ほどご説明も、
0:13:25	いたしました久慈という指標を参考にちょっと定量感を出すためにちょっとつけさせていただいたという次第でございました。以上です。
0:13:33	説明はわかりましたけどもその人やっぱり一歩踏み込んであれなんですかねその設計の概念というか少しそういうところを加味してるっていうところはやっぱり
0:13:43	変わらないんですかねそうすると。
0:13:45	一番最初一番最初のヒアリングで確かこのほかにもいろんな
0:13:50	理由付けする資料多分つけてきていただいてたと思うんですけどもそこまでその設計を加味してその基準地震動を決めてるわけじゃないのという話は多分したかと思うんですけども、
0:14:02	これはまあ、そうすると、その概念もやっぱり若干入ってるようなニュアンスに聞こえてしまうんですけども、
0:14:12	日本原燃の大橋でございます。概念という意味でいきますと1000、今までのヒアリングでご指摘いただいた内容といいますと、例えば弾塑性応答スペクトルとか、そういったような指標でお示ししたことがございましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:25	ありというのはまさしく施設の何ていうんすかね剪断変形とかそういったところを前提にした指標でしたので、それをこの基準地震動を決める世界で用いるということではちょっと不適切かなというところで、
0:14:36	ご指摘をいただいたと思ひまして我々もそれ、その通りだというふうに考えているところでございます。今回につきましてはこの長さのところというところの品が、長さというその回数の指標というところで、申し上げたんですけれども、
0:14:50	そういう意味では先ほど申し上げたレベルでの施設の設計を見越した判断、最終的に使う目的としては施設に入れるというところがあるので、同じスペクトルであれば、大きい振幅が何回も出る方がいいだろうというところはそういう意味では、施設影響のところというのも、
0:15:05	ちょっと一步踏み込んだところの御説明というふうになっているというのが実情でございます。
0:15:14	すいませんナガイですけど、この点に関して二つ聞きたいんですけどね、まず一つは、
0:15:19	設計の設定、弾性設計なりをされるんですよね。
0:15:23	そうであるとする等、何回も振幅があっても弾性設計の範囲におさめるのであれば、
0:15:29	傘はないと思うんですけども、
0:15:32	その点をまずいかがですか。
0:15:35	日本原燃のオガセでございます。ちょっと設計に踏み込んだ内容で申し訳ないんですけども、S s 基準地震動 S s での設計でいきますと、施設影響評価施設の耐震評価というところでは、
0:15:46	非線形性なんかを施設に見込んだ上で耐震設計を行ったりしているところでございますので、今長井さんがおっしゃいましたようなところの弾性設計であれば、原子特性というのは関係ないだろうというのは、S D とか、弾性設計地震動の観点では大体そのような、
0:16:01	通りだと思ひますけれども S s の観点ではやはり繰り返しというところの、繰り返し荷重ですかねそういったところについては影響があるというふうになって、
0:16:11	はい、お考えを伺い、あともう一つは、閾値の値これをどうするかによって結構変わってしまうんじゃないかと思うんですが、その辺りはいかがなんでしょうか。
0:16:23	はい、原燃の大手でございます。現在の敷地、11 ページの上の黄色いところで書いております通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:30	ちょっとすみません社内構想を変えましたので一度説明した範囲から、
0:16:46	すみません。放送がありましたので、続けさせていただきます。11 ページに記載しております通り今回1については300200というふうにやっております。今長井さんおっしゃいました通り、この指標を変えると確かに貨物というのは変わってくるというところ。
0:17:00	でございますけれども、波を、以降、何て言うんですかねすみませんこれについては、決めというところでのこの大新築が出てくる回数というところを10ページのところでご説明いたしましたので、その大振幅に着目したこの積分値、
0:17:13	そして今回キャビティの定量的な指標として用いてみたというところでございます。何で300にしたのかといいますと、これはあくまで決め事というか我々としての判断なんですけれども、
0:17:23	10ページに書いております時刻歴は形を調べてみますと、何ていうんでしょうかいかにもシンプル包絡性みたいな形状になっているのが大体300ガルでして、そこから
0:17:33	有井みたいに桃原数でこう飛び出してくるのがその300以上のところで飛び出してくるというような見込みがありましたので、この辺りちょっと10ページの御説明と整合的なところの観点で、
0:17:43	数字で何かしら示せないかというところでのこの300ガル200ガルを閾値としたキャンプ地採用させていただいたというところでございます。
0:17:52	長井です。はい、わかりましたということは300を超える値をとれば、このあたりの、
0:17:59	両者の相対的な差には変化はないというふうに判断して300を採用されてると。
0:18:05	いうふうに受け取ってよろしいですかね。
0:18:11	日本原燃
0:18:13	ちょっとごめんなさい。私の理解が及ばずに申し訳ありません。今おっしゃった相対的というのはごめんなさいどういった意味でしょうか。教えていただきますと幸いです。はい。すみませんちょっと私の言葉が足らなかったかもしれない総体的と言ったのは、
0:18:25	C A V 値の値の相対的關係というものが、300 じゃない値、エンチ過ぎでは300 じゃない値をとっても、相対比がこの程度差が出ると。
0:18:37	いう理解でよろしいですかということです。
0:18:40	日本原燃のオガセでございますおっしゃる通りの認識だというふうに我々もとらえているところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:46	わかりました念のため今聞いた、私の中だった背景を言うと、比木1というものにちょっと任意性があるのではないかと。
0:18:55	いうところで、その任意性をどうやって排除されているかというところでちょっとお聞きしたというところです。
0:19:01	で、今説明していただいたところはもうちょっと補足的に紙に落としていただいた方がいいのかなと思いますちょっとご検討、記載実は午前、ご検討いただければと思います。
0:19:12	日本原燃のオガセでございますかしこまりました。ちなみになんです、今回のこの11ページの、この田淵のやつというのは10ページでご説明してございますこの大振幅パルスが何回も出るというところこれ見た目でも、正直我々はわかるというふうに判断しているところでございますが、
0:19:29	やはり見た目だけではちょっと説明が弱いかなというところでちょっと軽量感というところで書かせていただいております。そういう意味での根拠をちょっと付加して、自主的に付加してみましたというような位置付けですので例えば参考に落とすとか、
0:19:41	もしくは再稼働なくても説明ができるというふうには考えているところではいるところでございます。ただ今ご指摘いただきましたけどもうちょい考え方の公開してみるというところにつきましては、の廃止をいたしました。以上です。
0:19:51	すいませんちょっと今誤解があったので、訂正、訂正させたいんですけども、今言った説明というのは300とか200という値をどうしてとったのかというところの、
0:20:02	説明を、
0:20:04	ないといけないその300団体が出てきているので、なぜ300なのっていうところを補足した方がいいという趣旨でございます。よろしいですか。
0:20:13	はい。日本原燃のオガセでございますかしこまりました。
0:20:16	サトウですけどね、やっぱりそれ、
0:20:19	唐突感があるんだよね。ここ、矢羽根の一つ目って、
0:20:23	閾値を超える振幅の値の波よって入っていくんだけど、これちょっと唐突感がある。和智。
0:20:30	さっきおっしゃったように、10ページのこの
0:20:32	等は形をね、見てさっきそのパルパル的な大きいものが幾つ入ってるかってのは目で見て、わかかりますっていうお話だったでしょ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:43	だから多分そういう概念をここにちょっと書いてもらわないと、そういったものが入っているので、それがどれぐらい入っているかっていうのを定量化するためにこの値を使ったんですってという言い方をするんだったらわかるんだけど、
0:20:57	ちょっとこれ唐突感があるんですね一つ目の矢羽根は、
0:21:00	そこの考え方をちょっと変え、
0:21:03	一言ふたこと書いてもらわないと。
0:21:05	なかなかこのすっと落ちない。
0:21:09	そんなところもしもう一ついいですか。C v1 ってこれ工学の方でやっぱり一般的に使われるてる、なんちゅうかて定義なんですか。
0:21:18	これ、ちなみに何の略ですかこれ違う。
0:21:22	木村君何とかみたいなそんな感じなんですか。
0:21:26	この紙V1、略称としてぜ、日本語だと。
0:21:31	絶対累積速度とかっていう名前になるんですけども、こちら工学的に一般的かと言いますと日本国内の原子力では例えばあまり使われてるもん。
0:21:43	のではないかなと思いますが、アメリカの、
0:21:47	電中研開発してる資料でして、
0:21:50	アメリカの方ではこれ、
0:21:52	プラスで新ための判断で、
0:21:54	これ市費補助的な指標という形でちょっと使われたりはしております。以上です。うん。ちょっとその正式な名称とか或いはその定義とか、引用とか、ちょっとそこら辺を変えてもらわないと。
0:22:06	ちょっと我々ちょっとこれ初めての見る値なので、
0:22:11	ちゃんとフォローしていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。もしかして皆さん方はもう当然知ってるんかもしれませんけども、
0:22:19	すいません。
0:22:22	1件クドウで承知いたし
0:22:27	日本原燃
0:22:28	今のお話を踏まえますと、まず10ページで、きちんと先ほど佐藤さんおっしゃってありました通り、ここの板名というかそういったところの観点で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:38	このパルスが大きい数が大きい振幅が複数回出ているというところをどういうふうな見た目とか、数えてみたとかそういったような観点でまずそこで結論を出しているというところはきちんと、
0:22:50	ご説明のほう追加させていただきたいと思っております。さらにその11ページ以降について確認しているというのは、10ページで先ほど申し上げた結論、これを定量的に
0:23:03	ケアするというか確認するという位置付けでやっているというところまたその時の設定の敷地とかそういったところの考え方の、
0:23:11	ね、そういったところをちょっと付加するような形で資料を修正させていただくことで、考えさせていただきたいと思います。
0:23:18	すいませんいう形ですけども1点ねやっぱり少しわかりにくいのはこれ例えば閾値を下げれば、同じように返すって増えてくるわけですよ。
0:23:28	差が減ってくるわけですよ。なので、そういう意味では大きな加速度が大きな振幅がいっぱいあった方を選びましたということだけなんだけれども、それが値イコールそのそっちを選んでおくことの重要性というのがね。
0:23:42	ストレートに基準地震動としてどっち選べますか問題ってのはやっぱりよくわからないんですよ。
0:23:49	そこはまずいいですよ。この、あくまでもその累積回数なので、例えばこれを150にしたら、多分どっちも同じぐらいの回数出てるかもしれないので、
0:23:59	そこは何か、どういう違いがあるんですかもうねつまり閾値をどうやって決めるか問題にしかならなくて、大きな加速度が何回も来るほうが厳しいというのは先ほどのその疲労係数とかね。
0:24:10	そういったその設計の方の話になると確におっしゃる通りなんだけれども、基準地震動として設定するとき、じゃあどっちなんですけど応答スペクトルの形は変わらないんですよ。時刻歴は形を見るとこういうことになってるんだけれども、じゃあどっちな、どっちにするか問題のときに、
0:24:25	これなんかね、直接的じゃなくて婉曲的に、やっぱり設計を意識してるようなニュアンスが強いんじゃないかなという印象を受けてるんですよ。なので説明をうまくしないでですね、なぜこれを選んだんですかというのがちょっとストレートに伝わってこないんですけどこれは工夫できますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:42	日本原燃のオガセです工夫をするようにいたします。ちょっと先ほど申し上げた内容も含めて、ちょっと工夫はさせていただきます。今回このやはり観測位相と制限は、
0:24:53	位相の比較の際には、今、今まで議論になっておりました大振幅パルスの回数というところの観点で見ていくんですけども、やはり基準地震動として選ぶ場合というところの観点で、最大加速度の方についても見ているところです。
0:25:07	応答スペクトル上につきましては先ほどから申し上げている通り、有意な差はないというところでございますが、最終的にはどちらを選ぶかという観点で、まず最大加速度高に比べまして制限は、
0:25:19	水平では、姫路というともうに関する観測記録のN S E Wともに大きくなって、鉛直も同じというような形で選んでいるというところでそういう意味では、大きい小選んでいるというのは全体前提にあった上で、
0:25:31	はい。移送関係のところについても確認をしているというような、そういうような位置、やっているところでございます。お願いします。はい。湯田です実は次その話をしようと思ってたんですがまず1丁目1番地としておっきいのがこっちですよというのを行った上でですよ。
0:25:44	なおかつそのし継続時間についても大体30秒とかね、同じような長さなんだけれども、より大きな加速度が連続してるのが、L A N水素を使った方ですよということにしとけばいいんじゃないかなと。
0:25:55	従ってその12ページのねこの結果を見て、どっちがいいか悪いかっていう判断というのは先ほど申し上げたように、これは単に閾値を変えれば、当然ね、値っていうのは同じになってくる可能性は、
0:26:07	すごく大きいので、この表自体がね、何かまとめみたいな結果結論になってるんだけどそうじゃないやりの方が私はいいいんじゃないかと思えます。以上です。
0:26:18	日本原燃のオガセ、ありがとうございます。今の方針を踏まえましてちょっと聞き方、説明の仕方をちょっと工夫させていただきたいと思えます。ありがとうございます。
0:26:32	こちらのですね応答スペクトルの方は
0:26:38	すいませんナガイですけども、多分描画のミスだと思うんですけども、
0:26:44	10ページの左側の1000は掲載書。
0:26:50	多分これ2秒弱だと思うんですけど、0詰めしたデータになってる。
0:26:54	ようなので多分これ秒がずれてんじゃないかと思うんですけども、確認した上でですね、再度、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:01	正しいの書いていただく方がいいと思うんですが、
0:27:06	この程度入ってんじゃない。
0:27:09	あげんクドウです。すいません。今のご指摘はこの制限は、算のは、
0:27:15	一番最初のところシンクやけんちっちゃいところまでこれが0のデータ入ってるんじゃないかというところですかね。
0:27:22	その通り多分電波の時間分とかずれて、
0:27:25	0から書いてるから、お尻が同じぐらいか、書いてないんじゃないかと思うんですけども、念のため確認していただけますか。
0:27:34	やっぱり。わかりました。確認はいたします。
0:27:40	はい。今のところも含めてですね資料については少し見直していただいた後はもう皆さんにお任せしますので、これは直しておいていただければと思いますが、
0:27:51	1点余計なことだけ言うとですねこれ他社にも言ってるんですけどもコメントの一番ですね、代替の他も、こういう書き方をしてるんですけどもこの保守性とは何ぞやっていうのはなかなかね。
0:28:03	つまり、M7が大きいからどうかということではなくてこれ資料の中でも説明していただいている通り振幅の継続時間ですよ。
0:28:11	主要動の継続時間が長くなりましたというのを5ページでご説明いただいて、その場合に使うパラメーターとして7の方が保守的な結果になりますよということを申し上げているので
0:28:22	説明が、そのように先ほどの指摘も踏まえてしていただければそれで結構ですので一応念のため、申し上げておきます。
0:28:28	引き続きですね、資料3の方の説明をお願いしたいんですが、先ほど資料1でもありましたしこの資料3の1ページもあるんですけども、
0:28:40	これ金貨って言葉使われてるんですけども、これは既許可の間違いですか。
0:28:47	既許可の間違いです。失礼いたしました。はい、わかりました。じゃあ引き続き説明をお願いします。
0:28:58	はい。日本人の佐田でございます。資料3をお願いします。
0:29:03	こちらの資料は、9022年10月4日の審査会合年俸者が説明した、
0:29:09	最後の新知見の反映についての検討対応でございます。
0:29:13	3ページ基本的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:17	もうコメントといたしまして、パフォーマンスを、ファッションショーが、そのフェスト、事業許可、
0:29:26	申請書で行うことについて、業種とか申請市場で、
0:29:30	対応がわかるようにこそ、コメントです。
0:29:33	コメントに対する回答といった対応といたしまして、本社の支出。
0:29:39	3 ページ目に、当社の実質照明等と、クドウ 2011 の隣り技術の対応を行っております。
0:29:47	3 ページ目は、左側に実施周辺陸域の地質層序表と、右側にクドウ k ある道の地質層序、
0:29:57	操業区分等、掲載しております、対応するように、塗料による所用いて、それぞれが対応できるようにお示ししております。
0:30:06	4 ページ目も、
0:30:09	信号の医師室表示灯ですが、こちらも同様に 0 かを示しております。
0:30:14	今後の小関家も、このように対応できるようにお示ししていくようにしていきたいと。
0:30:22	しています。
0:30:25	衛藤。
0:30:29	続きまして火山について小山がご説明させていただきます。
0:30:34	新知見による変更点については、前回会合では主な変更点についてご説明いたしましたが、その際のご指摘も踏まえまして、既許可のまとめ資料からの変更点を網羅的に、
0:30:46	また R F S の資料も参考といたしまして反映をさせていただいております。
0:30:52	13 ページまでが変更の概要を示してございまして、14 ページ以降に、すべての変更点を示している形になっております。
0:31:01	まず、7 ページ目でございますが、
0:31:07	各検討項目の許可の内容を上段に記載してございまして下矢印で今回の申請内容についてお示ししてございます。
0:31:16	まず左上の、
0:31:19	施設に影響をおよぼし得る火山の抽出のところでございます。
0:31:23	既許可の申請の、での評価。
0:31:27	では、第 4 紀火山を 48 火山抽出してございまして施設に影響をおよぼし得る火山を 21 火山抽出してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:35	こちらについて今回の申請では、仲野ほかWebの更新に伴い、箱田クロモリ、八幡だけを八幡だけ火山に統合されたと。
0:31:45	いう、これに伴いまして、第4紀火山が47火山に見直したと。
0:31:50	また、説明供試火山が22火山に見直したということでございます。
0:31:57	また右上の、
0:31:59	ところで、その小さい火山の個別評価についてを示してございまして、
0:32:05	下矢印のところで、今回申請での評価としては、新たに加わった、設置におよぼし得る火山である八幡武火山の設計対応不可能な火山でしょうが、
0:32:17	次を足すまた敷地において発生する可能性は十分小さいと、評価してございます。
0:32:22	結果として、既許可の申請での評価からは変更がないと。
0:32:27	ところでございます。
0:32:28	また左下の施設に影響ばシール火山症
0:32:32	と、あと右下の火山モニタリングについて、こちらについては、八幡岳火山群を考慮しても、許可からの変更点はないというところでございます。
0:32:44	続いて、下の8ページのところですが、このウェブの更新の概要として、こちらのページ前回会合資料の再掲となります、なりますが、骨子による変更点を箇条書きにしております。
0:32:59	まず立地評価といたしましては、いえ、大田プロモーター(8)番だけを、八幡平火山群として統合し、第4紀火山を47火山に変更します。
0:33:10	8番だけ火山分は最後の噴火の計画期間が前かつ期間より短いことから、施設に影響をおよぼし得る火山として評価しました。
0:33:18	この8まで火山群の設計対応不可能な火山事象が、資金到達または敷地において発生する可能性は十分小さいと。
0:33:26	評価しました。
0:33:28	続いて影響評価につきましては、八幡平火山を起源とする設計対応可能な火山事象が、
0:33:34	施設に影響を及ぼす可能性は十分小さいと、評価してございます。
0:33:40	続いて9ページのところです。こちら前回会合資料の再掲。
0:33:46	となりますが、概要として、火山の統合前後の位置図をお示ししてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:53	続いて下の 10 ページのところでございます。こちらも再掲でございますして、統合前後の活動年代の違いにより、新たに八幡岳火山群を原子力施設に影響してるパターンと、
0:34:06	評価した。
0:34:08	旨記載をしてございます。
0:34:10	続いて 11 ページから 13 ページは、
0:34:14	R F S も参考としました、いたしまして参考までに、統合前後の階段ダイアグラムをお示ししてございます。
0:34:23	14 ページをお願いいたします。
0:34:28	この 13 ページまでの内容が概要でございますして 14 ページ目以降に、過去変更点を詳細に、
0:34:35	反映をしてございます。
0:34:36	まず、左上の施設に影響をおよぼし得るパターンの抽出について、
0:34:41	次ページ以降ご説明いたします。
0:34:44	15 ページをお願いいたします。
0:34:47	この施設に影響をおよぼし得る火山の抽出のフローを示してございます。
0:34:53	まず、第 4 紀火山を、47 火山として東郷によるマイナス 1 火山を反映しております。そのあとの活動可能性評価を行った上で、
0:35:04	最終的には原子力施設に影響をおよぼし得る破断として、1 火山増え 22 火山となっております。
0:35:12	続いて下の 16 ページでございます。
0:35:15	先ほどの第 4 紀火山の 47 火山への変更を、赤字の部分反映してございます。
0:35:24	17 ページをお願いいたします。
0:35:28	先ほどの 47 の第 4 紀火山につきまして、
0:35:32	活動可能性評価を行っているページでございますが、
0:35:36	統合後の八幡だけ、29 番で丸印つけておるところでございますが、こちらを将来の活動可能性が否定できない火山として、
0:35:46	追加してございます。
0:35:50	下の 18 ページのところが、その結果として、原子力施設に影響とし得る火山として、小さく火山が 22 火山に変更となったということ、
0:36:00	反映をしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	19分、19ページ目以降におきまして、その22火山の原子力施設影響し得る火山の個別評価をお示ししてございます。
0:36:14	20ページ目、
0:36:16	が、その原子炉施設の影響土砂火山の設計対応不可能な火山事象の到達可能性のフローをお示したものでございます。
0:36:26	この22火山という火山数の変更を反映しております。
0:36:32	続いて21ページ目でございます。
0:36:36	22火山の到達可能性の評価という絵を記載しているページでございますが、新たに加わった八幡岳火山群は、赤字の通りでございます、
0:36:49	設計対応不可能な火山事象の影響はないことを、追加してございます。
0:36:54	西田の22ページは、その八幡岳火山群の噴出物の
0:36:59	分布を示したものでございます。火山周辺に限られる。
0:37:03	もっと影響は十分小さいということでございます。
0:37:07	23ページに、設計、火山事象の到達可能性のまとめ。
0:37:13	ということでございます。
0:37:16	八幡岳火山群を含む、設置に影響を及ぶ資料から22パターン。
0:37:21	のうち、
0:37:23	十和田と八甲田山につきまして、迫田さんの火砕流を除いて、影響を及ぼす可能性は十分に小さいということを記載してございます。
0:37:33	下の24ページのところでございます。
0:37:37	この24ページはそのパート発砲ダーン
0:37:40	の詳細検討結果を踏まえた、まとめでございますが、八幡だけ火山追加に伴う変更点は特にございません。
0:37:50	地域25ページ以降のところで、
0:37:53	左下の影響評価について、
0:37:57	変更点を反映してございます。
0:38:00	26ページが、設計対応可能な火山事象の評価結果を一覧で示しているものでございます。
0:38:08	赤字の通り、8万で加算分を追加しても、降下火砕物を含めて、
0:38:13	施設に影響を及ぼす可能性は十分に小さいということを、確認してございます。
0:38:21	27ページから29ページにかけて、降下火砕物の既許可のまとめ資料を再掲してございますが、8番だけ火山の降灰が確認されておられませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:33	後半についての変更点はございませんが、
0:38:38	資料として、再掲をさせていただきます。
0:38:42	説明は以上でございます。
0:38:45	はいありがとうございました。確認する、したい事項その他あれば、
0:38:57	はい。すいませんイワタですがすごい細かい話で恐縮なんですけど7ページのこの今回ね
0:39:04	追加していただいた絵なんですけれども、左側で右側でもいいんですが、右側の抽出された火山の個別評価の概要とあって許可での評価と今回申請の評価があって、
0:39:15	言いたいことは多分8ページにあるですね、全体としての評価というのは機構から変更ありませんでしたと書いてあるんですが、この箱の中にね、許可での評価から変更なしと書いてあっていや、
0:39:27	今回での評価といって追加されてるじゃないですか。これちょっと何か美しくないなと思ったんですがいかがですかね。
0:39:35	ご指摘の意図としてはおそらくこの、今回申請所の評価の中に既許可の申請からの評価から変更なしっていうこのボックスの中に許可、
0:39:45	評価から変更なし。
0:39:47	書いてしまっているのが、そういうことです左側の一番下と今右側の上ですね。ただ全体的な話はもう8ページでまとめてあるので、全体としての方の評価は企画課からは変更ないっていうのは次のページ見ればわかるので、このボックスに書くのはちょっとあんまり、
0:40:03	適切じゃないかなと思ったんですけど。
0:40:06	趣旨はわかりますか。そう。
0:40:08	ご指摘の意図はわかりました。ちょっと特にこの下の二つのモニタリングと、
0:40:16	影響し得る火山の概要のところはちょっと基本変更点がないものですから、何も書くことがないとちょっとあれかなと思って変更なしと書いてしまっておるんですがちょっと、
0:40:26	今回申請での評価というわけではないので、
0:40:29	ちょっと記載を工夫させていただきます。全く変わらないとかね企業から変更なしはもう、
0:40:35	でもいいですし、
0:40:38	すみませんつまないことなんですけどそこだけ誤解を招かないように書いていただければそれで結構です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:44	はい、かしこまりました等ございます。
0:40:48	すいませんサトウですけども、
0:40:50	この層序表の対応はなかなかこれ見にくいですねなかなかね。
0:40:55	ちょっと見にくいような気がするんだけど、
0:40:59	そうですね。
0:41:01	ええ。
0:41:05	頑張って作っていただいたのはわかったんですけど、
0:41:08	ちょっと見にくいなこれなっていう、そんな印象を受けました何か
0:41:13	趣味的なものもあるのであまりコメントしませんけども、
0:41:21	那須の
0:41:25	そう。
0:41:27	はい。二本木委員、庄野です。
0:41:32	はい。
0:41:34	宮鶴です。
0:41:46	すいませんイワタです多分、名称の話ですよ一番わかりにくかったのは、文献とかではこう言ってるんだけど自分たちではこう言ってますというのがですね何かもう一覧表で一つついてればそれでその根拠はこれですよという、何か2段構えの方がわかりやすくないですか。
0:42:07	はい。はい。そう。
0:42:10	いうふうな形で、
0:42:13	お会いしたいと思います。すいませんちょっとまたこれも細かい話ですが少し工夫をして見ていただいて、何々層が何々層に対応してるという、その
0:42:21	要は簡便な一覧表に加えてこの表をつけていただくというほうがわかりやすいと思います。ありがとうございます。
0:42:28	はい。しました。
0:42:32	はい。こちらからは以上になりますが、
0:42:37	原燃から何かありますか。
0:42:43	特には大丈夫です。
0:42:48	本件ですねもう御社、
0:42:51	これを決めてしまわないと次の安定性評価に進めないなので、審査会合を早くやろうと思ってまして、ちょっと事務的には三井さんの方から少し説明してもらっていいですか。
0:43:05	はい三井ですけども、今説明していただいた内容の審査会合は、4月の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	25日の月曜日、
0:43:16	の午後に開催したいと思ってますけども、対応は、
0:43:24	大丈夫。で、何で資料の提出は1週間前。
0:43:29	25日だから、
0:43:31	18
0:43:33	日に提出していただくイメージかなと思うんですけども対応は可能でしょうか。
0:43:41	はい。日本原燃の田崎です。そのように対応させていただきます18日に規制庁さんの方に到着ということで、よろしく。
0:43:51	社長。
0:44:10	合わしたじゃちょっと、一応2、18日を目標にしてもらって11日に届けば一番いいですけど、
0:44:17	別にそれを目標にやっていただければ結構です。
0:44:20	お願いします。
0:44:22	はい、わかりました。
0:44:40	そうそうそうそうそう。麻生宗です。刀禰。
0:44:43	25日はすいませんもともと予定がですね核燃料施設の方の、
0:44:50	審査会合がもともと入ってるんですけども、その
0:44:57	もともと予定した会議の次の議題2としてですね、
0:45:01	原燃さんとちょっと他の事業者もできればと思ってるんですけども、予定しておりますのでちょっと開始時間が、ちょっとよg、3時半から4時間、4日そんぐらいになっちゃうんですけども、
0:45:14	ちょっとそんな感じで、
0:45:17	想定して対応をお願いします。
0:45:21	大丈夫ですよ。
0:45:24	はい。はい、わかりました。大丈夫です。
0:45:26	はい以上でよろしくをお願いします。
0:45:32	説明時間。
0:45:35	は、どんなもんですかね。
0:45:38	15分ずつぐらいですか。
0:45:40	15分いらねえか、10本ぐらい。
0:45:45	以上です。
0:45:47	15周年。
0:45:50	十分10分ぐらいでいいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:53	それぐらいで大丈夫です。
0:45:56	うん。
0:45:57	10分10分をお願いします。
0:46:00	まだあれかな。やり方としてはあれですね今、今日みたいに1回
0:46:05	標準とスペクトルの説明をしていただいて、
0:46:08	新質疑応答して、次に新知見の話をして、
0:46:13	質疑応答みたいな感じでイメージしていただければと思います。
0:46:18	よろしくをお願いします。
0:46:21	お願いいたします。
0:46:27	こちらからの事務連絡も含めて以上になりますが、よろしいですか。
0:46:35	はい。はい。本日のヒアリングは以上にしたいと思います。お疲れ様でしたありがとうございます。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。